

第 55 号

発行所

社会福祉法人 上横山保育会

〒834-1101

福岡県八女市上陽町

上横山4001番地

TEL 0943-54-2233

FAX 0943-54-2232

発行責任者 藤島 真由美

しんねんどむか

新年度を迎えて

しゃかいふくしほうじん かみよこやまほいくかい はす みだんち
社会福祉法人 上横山保育会 蓮の実団地
しせつちやう たがわ はるき
施設長 田川 晴基

さくら きせつ す あたら ねんど むか は げつ た
桜の季節も過ぎ、新しい年度を迎えてから早や1か月が経
ちました。振り返れば、平成25年度は波乱の1年でした。
うえだぜんりじちやう さくねん がつ な ご あたら たいせいづ
上田前理事長が昨年7月に亡くなり、その後の新しい体制づ
くりを最優先で行うとともに、施設移転・建設計画への取り組
み、また事業体系の見直しとそれに伴う職員的大幅な異動
も行いました。そして 4月1日、平成26年度となり辞令交付
の日、上横山保育会は、新たに採用された職員とともに新し
い一歩を踏み出しました。職場になくはならないベテランの
しゃくいん ねんどとちやう ねんどまつ ていねん た りやう
職員が年度途中、または年度末をもって定年その他の理由
により退職しました。新職員の採用により欠員の補充は出来
ましたが、それぞれが1人前の戦力を発揮してくれるにはあと
すこ じかん ひつやう
少し時間が必要なようです。

あら しゅっぱつ しよくば かだい ほうじん しせつ こんご
新たな出発にあたり、職場の課題や法人・施設が今後
めざ ことし がつ ねんとう けつし かき
目指すところについて、今年1月、年頭に決意したことと重ね
あ わせながら、あらためて次のように考えました。それは、施設
いてん けんせつつけいかく きつきん かだい と く あたら
移転・建設計画という喫緊の課題に取り組みながら、新しく
なった事業編成・利用者構成・職員配置等の状況確認、ま
た優秀な人材の確保・育成などに努め、利用者や地域の二
ーズに十分応えられる施設づくりを行う、といったことです。そし
て、私たち職員は、利用者やご家族の方たちが、蓮の実団地

えん りやう おも しせつ
(園)を利用してよかったと思ってもらえるような施設、さらに
しゃくいん はす みだんち えん しごと も ほこ も
職員も蓮の実団地(園)の仕事にやりがいを持ち、誇りを持て
るような職場、そのような施設づくりを目指したい、と考えてお
ります。

しせつ ひび いぜん か あか せいかつ しごと
施設での日々、以前と変わらず明るく生活し、仕事をしてい
る利用者の人たち、また 自らの仕事に責任を持って黙々と
ぎやうむ おこな しゃくいん すがた み じぶんじしん
業務を行う職員の姿を見るときに、自分自身はどうなのか、
どうあるべきか、と自問せざるを得ません。

はす みえん はす みだんち ねんちか れきし なか おお
蓮の実園、蓮の実団地ともに、50年近くの歴史の中で、多
く先輩職員がその時代ごとに持てる力を傾注して施設づく
りをしてきました。私たちはその歴史と伝統を尊重しながら、
いま しせつ もと きのう そな どりよく
今、施設に求められる機能を備えるべく努力していかねけれ
ばなりません。

げんざい しゃかいふくしほうじん すがた やくわり きび
また現在、社会福祉法人は、そのあるべき姿・役割が厳し
く問われています。国に代わって社会福祉事業を行う社会
福祉法人は、他の団体・事業所とくらべ税制面で優遇されて
います。しかし、このことはそれだけ社会福祉法人に課せられ
た責任の重さを示すものであり、私たち職員はそのことを
じゆうぶん じかく ざいむ かんけい こうかい ほんらい しょうがいしゃ
十分自覚し、財務関係の公開だけでなく、本来の障害者
福祉の領域を越え社会貢献のために何ができるかをよく考
え、実行していかなければいけません。

こんご ますますほうじん しせつ と ま じょうきやう きび なか
今後、益々法人・施設を取り巻く状況が厳しくなる中、
しゃくいん いちがん ち え だ あ ちから あ の き
職員一丸となって知恵を出し合い、力を合わせて乗り切って
いきたいと思います。何卒、関係各位のご協力、よろしくお願
い申し上げます。

光陽の郷交流会

3月5日(水)に今年度最後の光陽の郷との

交流会が行われました。年長・年中・年少児で、

舞踊劇『雪の女王』と、遊戯『お団子ころころ音頭』を

発表しました。素敵な衣装や、髪飾りでたくさんおしゃ

れをして、元気いっぱいに歌って踊りました！1年間、

お世話になりました。来年度もよろしくお願いします。



雛の里・八女ぼんぼり祭り

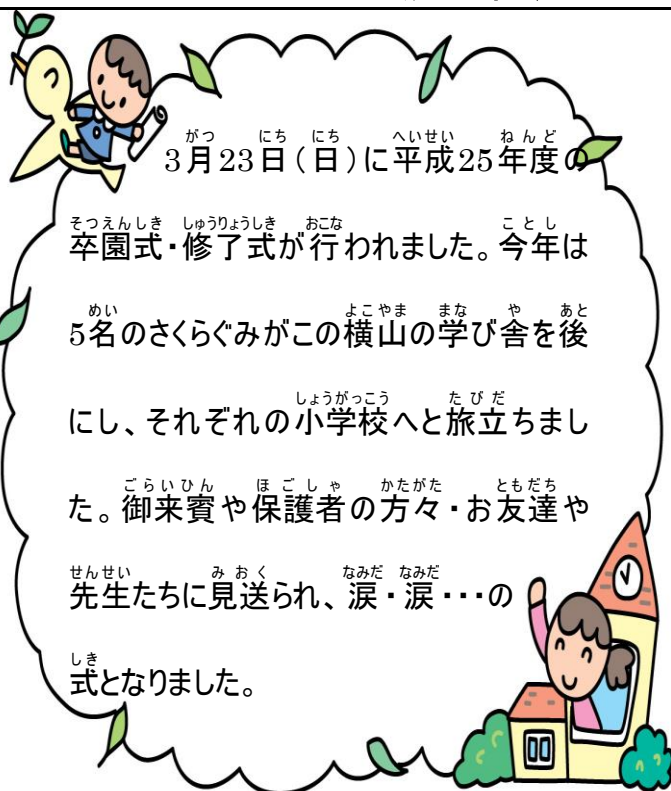
2月23日(日)に「雛の里・八女ぼんぼり祭り」が

開催され、西光園のさくらぐみ(年長児)のお友達も

お雛様・お内裏様の衣装を着けて八女の白壁の

町並みを、十二単のお雛様や束帯姿のお内裏様、

市内の他園のお友達と一緒にパレードしました。



3月23日(日)に平成25年度の

卒園式・修了式が行われました。今年は

5名のさくらぐみがこの横山の学び舎を後

にし、それぞれの小学校へと旅立ちまし

た。御来賓や保護者の方々・お友達や

先生たちに見送られ、涙・涙・・・の

式となりました。



4月2日(水)に平成26年度入園式が行われま

した。桜吹雪の舞う中、新しいお友達を迎えて、に

ぎやかな保育園生活がスタートしました。子どもたち

の健やかなる成長のお手伝いできるように、職員

一同力を合わせて頑張ります。どうぞ、よろしくお願いします。



そなえあれば憂いなし！

夜間避難訓練

3月28日(金)22:00、利用者の方が就寝時間を迎えたころ、「じりりり…火災発生、火災発生」けたたましく警報機がなりだしました。夜間避難訓練です。すぐに夜勤職員が火災発生場所(想定)を特定し、利用者の方へ指示をだします、「調理場で火災発生、玄関前駐車場に避難してください」。利用者の方は警報音が鳴ると居室から廊下へ出て待機していますが、避難場所の指示の放送を聞いて、職員の誘導のもと、落ち着いて移動を始めます。誰一人あわてることなく、ハンカチやタオルを口にあてて避難することができました。毎年避難時間の記録をとりますが、今年は4分34秒。八女消防署より立ち合った中村氏からも速やかな行動にお褒めの言葉をいただきました。中村氏からの話では「火事での死亡原因の多くは煙を吸って、動けなくなることです」と説明され、火災の恐ろしさについて再認識しました。



たいへんよくできました！もし火事になっても落ち着いて避難しましょう。



避難訓練は日中活動時に1回、夜間に1回、年2回行っています。火災はあってはならないことですが、日ごろから訓練を行うことで、非常時に適切な行動がとれるようにしています。

施設内研修会

～権利擁護・虐待防止研修会～

3月5日(水)権利擁護、虐待防止をテーマにした職員研修会を開催しました。障害者虐待防止法では、障害者福祉施設の設置者等には障害福祉施設従事者等の研修の実施、苦情処理体制の整備など障害者福祉施設従事者等による虐待の防止等のための措置をとる責務が課され、私たち従事者には虐待の早期発見に努め、障害者虐待を受けたと思われる障害者を発見した場合、通報の義務が課されました。法施行から1年半が経過する中、福岡県では法施行前から県内の事業所を対象に「福岡県障害者虐待防止・権利擁護研修」を実施していました。今回、2013年度の研修に参加した職員から伝達研修という形で施設内でも研修を行いました。

施設内研修会の内容は、障害者虐待防止法の内容、虐待の基本的考え方を伝える講義と、虐待と思われる行為だけでなく、虐待の芽となる不適切な関わりを、どうすれば防げるかなどを考える演習を行いました。



↑グループで話し合ったことを発表中！

←みんな真剣に話し合っています。



日頃から管理職、職員が人権の尊重や権利侵害について高い意識を持ち、支援技術を高め、支援技術を共有することでよりよい施設運営ができるよう、このような研修を続けていきます。

新春の集い

2月の初旬より各事業所に分かれて新年会を行いました。
会場は昨年同様、八女市にある『八女のジ・ビールと天然温泉 べんがら村』に行ってきました！

べんがら村に到着してすぐにみんなの大好きな温泉に入りました。とても天井が高く、自然の光が入るように屋根も工夫されていて解放感いっぱいでした！あと露天風呂もあって八女の豊かな田園風景を眺めたり、目の前にそびえる飛形山も眺めることができました！



(上: 磐井の湯)



(右: 八女津媛の湯)

温泉に入って身も心もキレイさっぱりになったあとは・・・

みんな大好き **バイキング**！でお腹いっぱい食べました。当日はフライドチキンやハンバーグ、カレー、ピザなどの通常のメニューとは別にお刺身や、お寿司などを追加した超豪華バージョンのバイキングとなりました。



第1回まごころ製品大規模販売会が開催！

平成26年1月22日から26日までの5日間、福岡市にある福岡三越の9階催事場で『まごころ製品大規模販売会』が開催されました！

障害者の皆さんが、まごころ込めてつくったクッキーや陶芸品、木工品に縫製品などいろいろな商品が店内にあふれていました。蓮の実団地からもお茶やいたけ、馬油製品などを販売し好評をいただきました。また店内にはフードコートも併設していて、たこ焼き業界No.1のトップメーカーお馴染み『八ちゃん堂』と施設のコラボ商品や小倉バーガー、郷土料理のおやきも食べることができました。



お茶の詰め放題
いかがですか〜

蓮の実団地の利用者の方も会場に足を運び、たくさんある商品のなかから『どれにしようかな〜』と悩みながら、でも楽しそうに買い物をされていました。当日は大勢のお客さんが詰めかけて会場の熱気は最高潮でした！すし詰め状態の中での買い物で皆さん少しお疲れ気味でしたが、普段買えない施設の商品を購入されて大変満足されていました。



お花見



今年のお花見は3月26日に横山自立センターでおこなわれました。あいにくの雨のため、体育館でお弁当を開くことになりましたが、カラオケや縄跳び、キャッチボールなどを楽しみました。

3月28日、天気も良くドライブへ出かけた矢部村の公園で、桜並木を眺めほっとひと息つき、心も桜色に染まりました。

指定特定相談支援事業所「ゆるっと」開設

(平成25年12月1日開設)

利用者一人一人が望む生活を実現するために、どんなサービスが必要なのかを表すサービス等利用計画を作成しています。

バイキング



3月19日、おいしそうなお寿司・ケーキ・茶わん蒸しなどが食堂に並びました。外食でしか食べられないにぎり寿司に「おいしいね」「またお寿司バイキングしてね」とさっそくリクエストする声が聞こえてきました。



どれにしようかな～♪



施設内設備紹介

【非常食備蓄倉庫】



災害等の非常時に備えて、3日分の水やご飯等の食糧を備蓄しています。

本の紹介

『リカと3つのルール』 東条健一

テーマは2つ。

一つめは、行動主義(動物実験を基にした心理学、

対抗流派からネズミの心理学とも呼ばれている学派)を

根拠に、ある指導教官の下、5人の大学院生が実施し

た穏やかな部屋での3つだけのルール。発達障害児

のリカちゃんになされた内容。

二つめは、著者(父親)の言葉を借りれば、オカルト

映画『エクソシスト』の現実の中、娘からのパパ、ママ

のひとことを発してほしいとの願いから、セレブの生活

から多重債務者になった、その父親の心の変遷。

鉄腕アトム最終回は、「太陽への特攻」が有名で

すが、もう一つのアトムの最終回を思い出します。



©手塚治虫/ゴマブックス

『死刑でいいです』 池谷孝司

「事件というのは、すべての巡り合わせが悪い時に

起きる、一つでも別の動き方があれば…」

永山則夫といった凶悪事件を含めて、数々の事件

を取り上げ、そのような視点で放送された「女神の天

秤」というテレビ番組。面白い人ではないが、安定した

正義感ぶらない関口宏氏の司会で、時には出所後

の本人の出演もあった週一の番組。15年余り前にも

かかわらず、心に残っています。

その本版です。犯罪の社会的背景、生い立ち、深

層心理、裁判の流れ等々、定番の流れですが、障害

の事、処方箋等がわかりやすく書かれています。

どのような小説、漫画でさえ、事件に至る「必然性」

や「哀しみ」といった事柄が描かれています、ノンフィ

クションも同様。つげ義春(虚無を描いた昭和の漫画

家)の世界を思い出します。



©つげ義春/新潮文庫

寄付

【上横山保育会(法人へ)】

- ・ 吉田胃腸科内科医院 院長 吉田主盟 様
- ・ 上陽校区福祉会 様
- ・ 蓮の実団地ご家族 古川 智都子 様
- ・ 蓮の実団地ご家族 樋口 正俊 様
- ・ (有)近藤商店 代表 近藤ムツ子 様
- ・ 肉の丸吉 代表 吉本幸雄 様
- ・ JA ふくおか八女上陽地区センター 様
- ・ (株)杉建 代表取締役 杉尾 友則 様
- (社会福祉法人 上横山保育会)
- ・ 評議員 池田 積 様
- ・ 評議員 白山 豊茂 様
- ・ 評議員 高石 勝彦 様

【蓮の実団地への寄付】

- ・ 蓮の実団地支援家族会 様

以上
[順不同]

(平成25年12月より平成26年3月迄)

ありがとうございました。



施設利用開始

(蓮の実団地)

1月14日	女性1名
2月4日	男性1名
3月31日	男性1名
4月1日	男性1名

行事予定

(西光園)

5月	春の遠足
6月	じゃがいも収穫祭

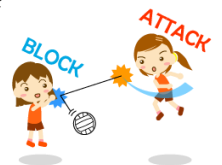


(蓮の実園)

5月	部屋別外出 第1回グランドゴルフ大会
6月	第1回作業班別食事会

(蓮の実団地)

6月	ミニバレーボール大会 ほたと銘茶まつり(販売)
----	----------------------------



(蓮の実園・蓮の実団地 合同行事)

6月～7月 歯科、耳鼻科、婦人科各種検診

夏季家庭実習

8月10日(日)～8月16日(土)

8月10日(日) 支援家族会総会

入退所状況

(平成25年12月1日より平成26年4月15日迄)

退所

(蓮の実園)

12月3日 女性1名

(蓮の実団地)

4月14日 男性1名 女性1名



ふれあい夏まつり

8月23日(土)

雨天順延 8月24日(日)



かみよこやま ほ いくかいどうせい

上横山保育会動静

(平成25年12月1日～平成26年4月20日)

【法人役員関係】

< 退 任 >

理事・評議員及び苦情解決第三者委員

木附 サツキ氏(平成26年3月末)

< 就 任 >

苦情解決第三者委員

評議員 田北 一人氏(平成26年3月28日)

【職 員 関 係】

< 退 職 >

(蓮の実園)

岩橋 清次 (平成25年12月末)

古賀 敬 (平成26年3月末)

富田 千波 (平成26年3月末)

(蓮の実団地)

新改 和人 (平成26年3月末)

高木 真実 (平成26年3月末)

今村 光治 (平成26年4月12日)

< 新 規 採 用 >

(蓮の実園)

松野 弘恵 (平成26年3月1日)

鶴 玉江 (平成26年3月17日)

(蓮の実団地)

田島 彰 (平成26年3月1日)

溝田 敬子 (平成26年3月1日)

板橋 裕一 (平成26年4月1日)

佐藤 薫 (平成26年4月1日)

松永 美幸 (平成26年4月1日)

(デュナミス生活支援ワーカーより異動)

中村 富美 (平成26年4月15日)

(デュナミス勤務)

服部 眞子 (平成26年3月1日)

(リーベル相談員よりデュナミスで再雇用)

へんしゅう こう き
編集後記

▽4月、希望の月のように思えますが、季節性なのか環境の変化によるものなか自殺数がピークになる月です。

『テレフォン人生相談』という、「身の上相談」をリスナーから受けるラジオの長寿番組がありますが、「悩み」があるという点では、格差社会もなにもない、みんな「平等」と思いながら、よく聞きます。

パーソナリティが加藤諦三氏である時、「妻から離婚の要求、如何したものか」の相談。弁護士が事情を聴きそれなりに回答したが、相談者は腑に落ちていない様子。

再度、加藤氏が、「あなた、息をしているのもきついのでは？」の問いかけから相談者が驚愕、仰天、納得。そこから相談事もトントン拍子に進み……。その様な回がありました。

20代から本を書き始め、世代を超えて多くの読者層を持つ著者。ロングセラーになっているのもわかるような気がします。

▽人には、なぜだかわかりませんが、手元にある何冊かの本があると思います。

「大切な事は、その人にしか起っていない、その人しか考えないこと、その人しか思いつかないことを、どんな人でも読めるように、作文に書くということ。」

「井上ひさしと141人の仲間たちの作文教室」の文中の一節ですが、「平凡」であっても、「稚拙」であっても「作文」の所を「広報」と置き換えた「蓮の実だより」であつたらと思います。

(文責 住浦俊治)



